



水無月（みなづき）

木々の勢いが隆々としてきたこの時期、田では田植えも始まりました。6月は、旧暦で「水無月」と言われます。



子どもの頃、田んぼに水をたくさん引くあまり「水がなくなる月」だと教えられた記憶があります。その説も間違いではないようですが、どうやら一番有力な説では、実は「無」は現代語に置き換えると「の」の意味となり、つまりは「水の月」となることから「水無月」となったそうです。田んぼ一面の水、梅雨、確かに6月は「水の月」ですね。（でも、個人的には、「水がなくなる月」説にロマンを感じてなりません…）

言葉の由来などを調べてみると、意外に面白い発見があります。その由来からは、先人がどれだけ自然を身近なものとして感じ、生活していたかがわかりますね。

我がまち『竜王』の地名についても、調べてみるといいと思います。きっとおもしろい発見があるかもしれません。



先日、1年生の下校付添の帰り道、慈照寺で「竜王」の謂われを見つけました。ヒントはここです。

～「絆」児童総会～

児童総会は、「自分たちの学校を、自分たちの手で、よりよくしていく」ための話し合いの場です。目指す学校に向けて、全校の意見をすり合わせ、そして、その実現を図る。ただ、その実現は誰かがやってくれるものではなく、自分自身がその意識を持って行動していくことが重要です。私から子どもたちに、「**自分が変わればクラスが変わる。クラスが変われば学校が変わる。**」ことを伝えました。今後の「自治の力」が楽しみです。



発表者の長蛇の列

さて、今年度の児童会スローガンは、

「未来へ飛び立て 仲間と共に」
～『KIZUNA』への挑戦～

鷹野児童会長を中心とする児童会本部から、**これまでとは違う、新しい竜王北小にしていきたい！**という強い思いが伝えられ、全クラス一致で決定しました。そして、

キーワードは「KIZUNA」に因み、

き・・・キラキラ笑顔かがやく学校
ず・・・ずっと元気な学校
な・・・仲間思いの学校

一人一人が協力し、笑顔あふれる北小を目指していきたいという願いが込められています。これから1年間、さまざまな活動を通して、昨年度以上の北小を創り上げていってくださることでしょ

～わたしの「元気リスト」～

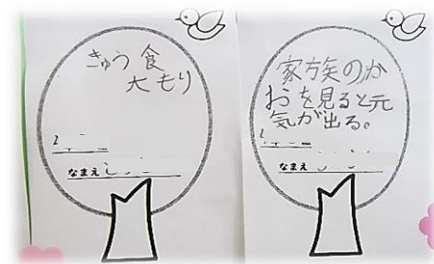
保健委員会の企画として、「元気リスト」の取組がありました。この企画は、「ちょっと落ち込んでいる時、悲しいことがあった時、自分を元気にしてくれるもの」を紹介し合い、個人の「**元気の源**」を、全校みんなで共有しようというものです。



掲示された「元気の源」の多くは、「スポーツ」「ゲーム」「遊び」「読書」などが中心で、やはり子どもたちの世界は、いつの時代も変わらないことを感じます。また、最近の世相を繁栄しているものとしては、やはり「YouTube」や「スマホゲーム」がありました。今の時代を物語っていますね。その他には、「お母さんの手料理」「空を見上げる」など、家族や自然から安心やパワーをもらっている様子もわかりました。

とかく、ストレス社会と言われる世の中。

大人も子どもも、多かれ少なかれストレスを抱えていることは事実です。また、ストレスと無縁に生活することも、実際には難しいことです。そうなれば、如何にストレスを軽減するかが大切になってきます。**自分の好きなこと、没頭できること、安心できること**をたくさん見つけておくことが、明日への活力となっていきます。ご家族みんなで、「元



気の源」を考えてみるものいいですね。

～ あいさつ・・・続編 ～

前号でお伝えしたあいさつですが、少しずつ子どもたちに変化が現れてきているように思います。元気なあいさつが多くなったり、今まで素通りしていた子が恥ずかしそうにあいさつしてくれたり、徐々にあいさつの輪が広がってきていることをうれしく思います。特に、1・2年生の元気な声が一段と増えてきました。中には、「こうちようせんせ～、おはようございま～す」の後に、朝ご飯や遊び、虫などの話をしてくれる子までいて、とても楽しいひとときを過ごしています。きっと、家庭での「あいさつのススメ」や各クラスでの朝の会や道徳・学活の授業などが、よい影響となっているのだと思います。

以前、「**あいさつは、心と心を結ぶ魔法の言葉**」というお話をしました。今後も、**相手との良好な関係づくり**のため、積極的に「あいさつのススメ」を繰り広げていきたいものです。